

工学部機械システム工学科出前授業 開催報告

望星技術士会 齋藤 寛

1. 日時

令和6年12月5日(木)

4限目 15:20~17:00(100分)

2. 場所

東海大学湘南キャンパス 16号館503教室
(対面授業)

3. 出席者

- 工学部機械システム工学科 落合成行教授
- 望星技術士会 杉山耕治(講師:㈱ミヨシ代表取締役)、永井和典、齋藤寛
- 工学部機械システム工学科学学生(1年生)
139名

4. 出前授業

(1)趣旨説明:落合教授

(2)東海大学望星技術士会の紹介:齋藤寛

(3)「入門ゼミナールB」~OB・OGに聞く~:
杉山講師

[構成]

- 経歴
- 就職先を決めた理由
- 何のために働くのか
- 今の仕事
- 資格取得のすすめ
- (株)ミヨシの仕事内容詳細
- 技術者がスキルを上げることの意義

[講義概要]

杉山講師から、学生に向けて以下の3つの問いが投げかけられた:

- 「自分にとって何に関心があるか」
- 「仕事を何のためにするか」
- 「社会に出て何をやりたいか」

これらの問いを通じて、自分に何ができるか、何をやりたいかを考えることが将来の進路を考えるポイントとなること、また、目標を定めることの重要性が示された。

杉山講師は、現在の仕事(㈱ミヨシ代表取締役、㈱技術継承機構顧問(技術、経営))や団体活動の紹介を通して、以下のメッセージを伝えた。

- 資格取得のすすめ:資格はその人の能力の証明であり、スキルや経験のある人材を企業は優遇する。
- 技術者が知識や経験を身に付ける意義:それは大きな財産になり社会的にも価値がある。
- 若い時の勉強は投資;年を重ねるごとに、そのリターンには大きな差がつく
- 技術の重要性:技術は地球上の生物が持続的に繁栄するために不可欠である。

以上、学生が将来の進路や目標設定を意識するきっかけとなる有意義な講義であった。



杉山講師



出前授業の様子

[謝辞] 工学部の新たな学科の出前授業の開催にご尽力いただきました落合成行教授、本会会長の山本佳男工学部長をはじめ関係者の方々に感謝申し上げます。